

魅力づくりのための新たな方策について

1 海外に開かれた大学づくり

◆ 外国大学との交流の拡大

海外の鳥取県、鳥取市友好提携自治体の大学等と学生、教員の相互派遣、研究・学術交流を活発化させ、外国との交流機会の多い大学を実現
ウラジオストク国際経済サービス大学、清州大学、江原道立大学など

◆ 留学の支援

留学アドバイザーを留学先地域に対応して配置し、留学前・留学中の相談に応じ、履修指導などを実施

◆ 学内に「多文化交流空間」を創造

環境大学内に、学生、教職員、地域の人が自由に参加して、鳥取にいながらにして、英語圏にいるかのような体験のできる多文化交流空間「English Chat Cafe (仮称)」を設置。

2 地域社会、企業で求められる人材づくり

◆ 在学中の資格取得の強化

- 就職に有利な資格、特定分野の企業において就職後に取得が必要となる資格等について、特別な課外講座を設定するなどの学内ダブルスクールの取組により在学中の取得をバックアップ

<資格等の例>

公認会計士、税理士、通関士、貿易実務検定、エコ検定
旅行業関係資格、金融・保険関係資格（フィナンシャルプランナー等）
公務員試験、レンジャー試験対策
HACCP 等の実務講座

- 学部を問わず全学生の環境関連資格の取得を支援し、社会に認められる環境に関する知識、マインドを持った人材を輩出
- 鳥取環境大学独自の認定資格「鳥取環境士（仮称）」の取得コースを新設し、環境マネジメントのプロを養成

◆ 就職支援の強化

- 商工会議所・商工会などの経済団体、県の県外本部との連携を強化し、就職支援を充実
- 卒業生、地元産業界のキーマンをサポートに任命するキャリアサポーター制度の導入

◆ インターンシップの充実

インターンシップ（職場体験）の充実、拡大

3 地元とともに歩む大学づくり

◆ 地域連携の拡充

- とっとり地域連携・総合研究センターと一元化することにより、地域連携・研究活動を行う附置機関を新設し、教員、学生の地域における活動を活性化させる地域経営研究の拠点を整備
- 市街地の空き店舗、中山間地域の空き家等に学生の地域活動の拠点となるスペースを確保。西部地区においてはサテライトスペースを設置し、学生の教育・実践実習、社会人講座を展開

◆ 学生ボランティア活動の積極的推進

学生・地域連携支援センター（仮称）を設置し、学生の自主的な活動をサポート。多種多様なボランティア情報を紹介し、学生の地域での活動を支援、活性化させる。

◆ 社会人向け講座の開催

社会人を対象とした企業経営講座など、大学の専門性を地域に還元する公開講座の充実

◆ 地域のプロスポーツ団体（ガイナレ鳥取）との連携

- ガイナレ鳥取と連携し、スポーツマネジメント講座を開講。公式戦のイベント企画、観客増のための競技場でのマーケティング等を学生で実施するなど、スポーツビジネスを実体験する。
- 「スポーツ実技」科目へのガイナレ鳥取からの講師派遣
- ガイナレ鳥取による県民・市民対象のサッカー講座を環境大学で開催

◆ パブリシティ広報の強化

マスコミに積極的に情報提供し、パブリシティを活用した広報を実施

【以下、引き続き検討・調整し、条件が整い次第実施するもの】

◇ 企業研究室の誘致

大学内に企業の研究室を誘致し、教育・研究内容の充実を図る。

◇ 大学間交流の推進

鳥取大学など県内の高等教育機関、環境・経営系の他大学との単位互換など教育・研究交流を推進

◇ 県内高等学校との連携

県内高校との連携を一層推進するため、連携協議の場を設定

◇ 基礎教育の充実

高等学校退職教員の協力を得て、入試合格者を対象に入学前教育を実施